

広島市立広島特別支援学校 進路指導部 広報係

## 平成23年度生活支援相談会を終えて

夏期休業中に実施してきました、生活支援相談会も今回で4回目となりました。この会の運営にあたっては、各関係機関、施設など多大な御協力を頂き開催することができました。また、今回の相談会では30件の相談が寄せられ、支援者の方には事前の打ち合わせ、資料集め等御協力をいただきました。今回の相談会へ参加された保護者からの相談の一部ですが紹介させていただきます。「福祉制度を利用したいのだけど、何をどうしたらいいのか」「日中一時、ショートステイの利用について」「卒業後の不安」「余暇活動の幅を広げたい」「家庭状況や本人の状態に対してのアドバイス」など日頃から不安に思っていることや困っていることなどの相談がありました。相談後のアンケートからは、支援者の方がとても優しく丁寧に聞いてもらえ、適切なアドバイスをしていただいたことなどの感想を寄せられました。また、もっと時間が欲しいという内容もあり、来年度へ向けて検討していきたいと思えます。

来年度も生活支援相談会を計画していきますので、日頃不安に思われていることや福祉のことなどは是非この機会を活用していただければと思っています。



## アフターケアから

本校では卒業後3年間、生徒の進路先や家庭での様子を伺い、情報を集約しています。卒後一年目は卒業時の担任と進路の係が中心となって、家庭へ電話連絡をし、夏季休業中進路先を訪問して状況を細かく把握するようにしています。

今年3月に卒業した第16期生55名についても全員の様子を確認しました。多くの卒業生が新しい環境の中、仕事に励み、自分の能力を発揮しながら順調に生活を送っている様子が伺えた一方で、課題を抱えているケースも何件ありました。

今回アフターケアを行った担当者から、「在学中から生活のリズムを整え、基本的な生活習慣を確立しておくことがいかに重要かを感じた」という声があがっていました。新しい環境で予期せぬことが降りかかっても、基本的な生活習慣が安定していると、余裕をもって課題に対応でき、問題解決できる場合が多いようです。

課題のあるケースについては、少しでも改善されるよう、進路先や家庭と連携を図り、引き続きアフターケアを行う予定です。

## 高等部第1学年～2学期の進路学習～

9月29日に保護者対象の進路研修会を行いました。今後の取組みの他に昨年度の進路状況、卒業の進路について、つけておきたい力などの研修を行いました。2年半後の卒業のために今からどんなことができるか、何から始めるかなど考えるきっかけになったようです。今後とも家庭と連携をとって進路指導をすすめていきたいと思っています。

進路学習では、10月には「高2職場体験実習から学ぶ」という学習をします。高等部2年生から職場体験実習の様子を聞いたり、ビデオを視聴したりして、学校生活と職場の違いや、働くために大切なことなどを考えていきます。また、「仕事してみよう（仕事模擬体験）」という学習で、学校の作業学習とは違う仕事の現場で使っている道具や、作業内容を体験し「仕事」について考えるきっかけにしていきたいと思っています。

11月には「職場見学」を予定しています。7つのグループに分かれて、卒業した先輩たちが働いている職場を訪問し、仕事の様子や雰囲気を感じたり、作業を体験したりします。

2学期はこのような学習を通して仕事、卒業後の活動について少しずつ感じたり考えたりしながら、家庭、学校から広がる社会生活へつなげていきたいと思っています。



## 高等部第2学年 ～2学期の取組について～

高等部第2学年では、「社会へチャレンジ」をテーマに1学期から職場体験実習をスタートし、生徒たちは事業所・施設・作業所・デイサービス等での初めての实習に一生懸命に取り組んでいます。学校とは違う環境の中で緊張し戸惑いながら実習に入っていきますが、徐々に慣れて挨拶や会話ができようになり、ぎこちなかった動きも次第にスムーズに動けるようになったりしてきています。この具体的な体験を通して、一人一人が卒業後の進路や社会生活について考える機会となることを期待すると同時に、実習で得た成果や課題をこれからの学校生活にしっかりと活かしていきたいと考えています。

12月には毎年、進路学習の一環として「卒業生から学ぶ」「余暇活動について知る」を題材に学習します。先輩が働いている様子をビデオ視聴し卒業後の生活について話を聞くグループと、心身障害者福祉センターのインストラクターに御来校いただき軽スポーツを体験して余暇活動について知るグループの2つに分かれて行きます。

また、11月の後半から12月中旬かけて保護者対象の施設見学を実施します。進路を考えていくうえで大切な情報（施設の方針や活動内容、送迎の有無、費用など）を知っていただき、生徒本人が卒業後に生き生きと活動できる進路先について、今後一緒に考えていきたいと思っています。

## 高等部3年生

1学期には多くの生徒が実習を行い、自分の進路決定に向けて考えることができました。2学期になってからも、引き続き進路決定のための実習を多く行っています。

卒業後に働きたい（活動したい）ところが決まったら、応募・申請手続きに入る時期がやってきます。福祉課やハローワークなどの公的諸機関と綿密な連携をとりつつ進めて参ります。こうして受諾・内定通知を受け取ることで一人一人徐々に進路の決定が行われます。手続きに関しては、10月28日に広島市健康福祉局障害福祉部自立支援課から講師として来ていただき、学校で保護者対象福祉説明会を実施して申請・制度の利用について研修していただく予定です。卒業の準備としての内容だけでなく、卒業後の生活に関する内容なども研修することができるような有意義な研修を実施したい思います。

進路学習では、実習の成果を発表し合います。目標達成を伝えることで自分に自信をもち、友達の頑張りを知って自分の意識を高めるという目的をもっています。学校生活以外の環境を多く知ることができるので、幅広い視野をもつことができると考えています。

2学期は、体育祭・文化祭など、事前学習にしっかり取り組んでの行事があります。毎日の学校生活を大切にしながらも、卒業にむけて日々の成長に期待します。